



# 月刊きたすばる

Vol.98  
2019年1月号

## 今月の一枚

### 2016年3月の部分日食



1月6日の部分日食は、2016年3月以来約3年ぶりに日本全国で見ることができる部分日食です。日本では北に行くほど欠け方が大きくなります。

## 1月の天文現象

- 2日(水) 細い月と金星が大接近
- 4日(金) しぶんぎ座流星群が極大きよくたい
- 6日(日) 部分日食  
金星が西方最大離角せいほうさいだいかく
- 23日(水) 金星と木星が最接近
- 30日(水) 水星が外合がいごう
- 31日(木) 細い月と木星が接近

## 太陽と月の出・入

	日の出	日の入	月の出	月の入	月の状態
1日	7:03	16:04	1:59	12:57	6日 新月 ●
10日	7:02	16:13	9:29	20:06	14日 上弦 ◐
20日	6:57	16:25	15:13	5:50	21日 満月 ●
31日	6:49	16:40	3:03	12:42	28日 下弦 ◑

## 1月の休館日とピリカ望遠鏡公開日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6*	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

※1月6日(日)は「部分日食観望会」時間中のみ開館します。

※ピリカ望遠鏡の公開時間は限られています。詳しくはHPもしくはお電話でご確認ください。

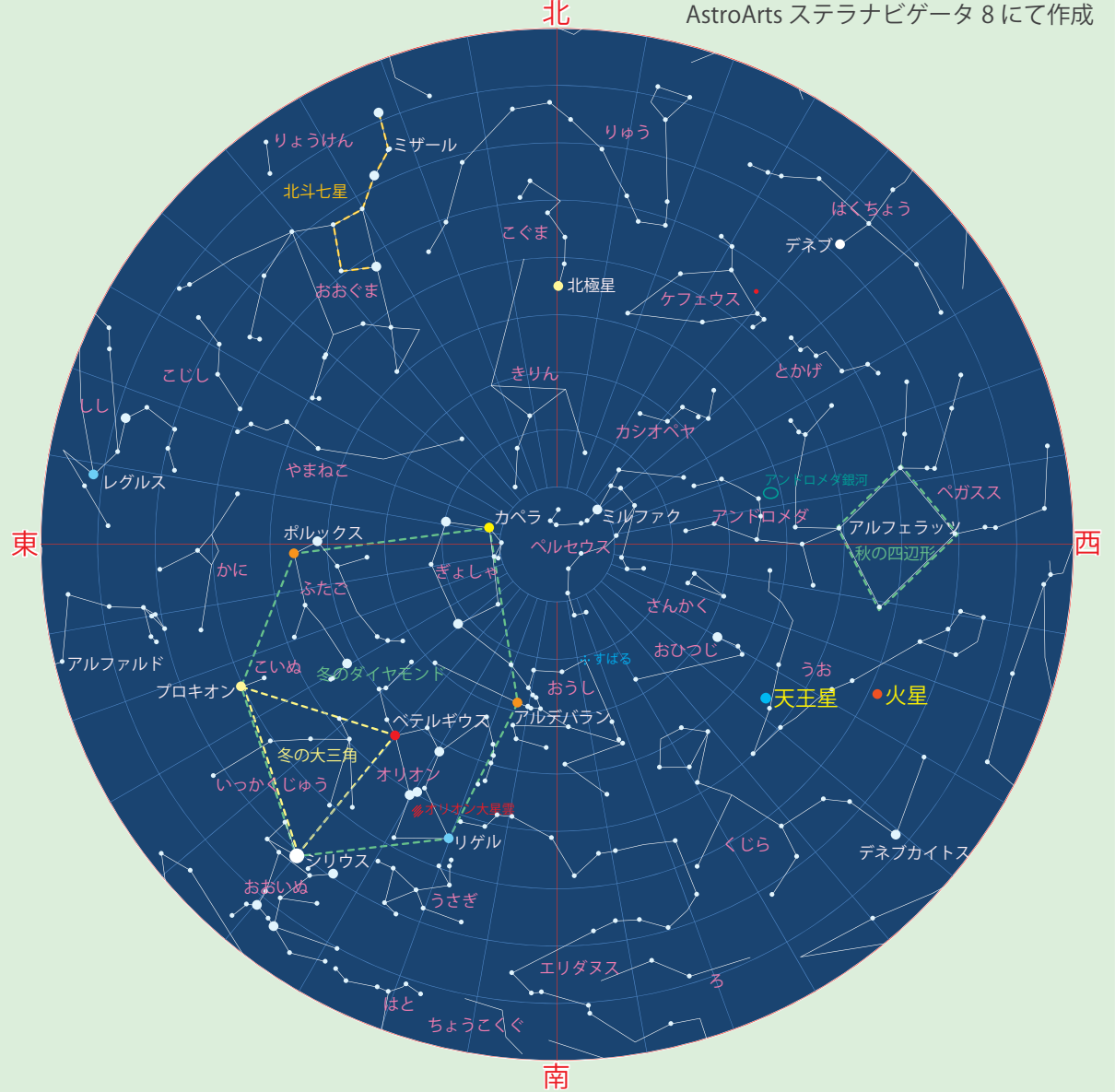
※急ぎ必要な観測が生じた場合は見学、観望が出来ない事があります。

開館時間は13:00～20:00(最終入館時刻は19:30)

休館日 1月6日(日) ピリカ望遠鏡公開日 1月11日(日)

## 2019年1月15日 20時名寄市の空

AstroArts ステラナビゲータ 8 にて作成



真冬の冷え込みが厳しい1月。冬の星座たちの中には、7つの1等星を見ることができます。冬の星座を探す目印の一つが「冬の大きな三角」で、1等星の中で最も明るい星、おおいて座の「シリウス」、オリオン座で赤く輝く「ベテルギウス」、こいぬ座の「プロキオン」の3つの星によって形づくられています。

## 惑星情報

水星(上旬まで)は昼間に、火星、天王星、海王星は夜に見ることができます。

- 水星
- 天王星
- 火星
- 海王星

AstroArts ステラナビゲータ 10 にて作成

## イベント情報

★天文イベント 🎵音楽イベント ☕サイエンス・カフェ

### ★部分日食観望会

日本では約3年ぶりの部分日食をみませんか。

日時 1月6日(日) 8:30～12:00

※観望会時間中のみ開館です。(フラネタリウムの投影などは行いません。)

料金 観覧料のみ

### ★世界中で宇宙を眺ようよ100時間

2019年で国際天文学連合は創立100周年。

それを記念し、約100時間世界中の人々が一緒に宇宙を眺める、世界的イベントです。夜空を見上げてその一員になりませんか。

日時 1月10日(木)～13日(日) 18:00～20:00

料金 観覧料のみ

📍宇宙天文ゆく年くる年 2018→2019

### くる年編「天文台長おすすめ 2019年注目の天文現象」

2019年の注目すべき天文現象をご紹介します。サイエンス・カフェ形式の講演会です。

日時 1月20日(日) 14:00～15:00

場所 風連地域交流センター「風っ子ホール」 中会議室

料金 無料

プラネタリウム特別上映

「太陽～私たちの母なる星～」

投影期間

① 1月 8日(火)～1月14日(月・祝) 毎日15:00～

② 1月19日(土)～1月27日(日) 土日15:00～

料金

観覧料のみ